

四国中央市で暮らし続ける「移住」のその先へ

新しいまちへ移り住むことは、「移住」の始まりです。そのまちで働き、人と出会い、地域を知る中で、少しずつ自分の居場所になっていきます。

今回は、移住者の声を通して、四国中央市での暮らしと、それを支えるための取り組みを紹介します。

立川哲太（てった）さん（Iターン）
1998年 福岡県糸島市生まれ
東京の大学を卒業後、埼玉県の企業で1年半働いたのち、福岡県へ戻る。
2024年、結婚を機にIターンし、現在は介護施設に勤める。

立川莉奈（りな）さん（Uターン）
1996年 金生町下分生まれ
5歳で柔道を始め、中学生以降を福岡県で過ごし、国内外の大会で優勝を果たす。
2024年、結婚を機にUターンし、現在は市スポーツ協会に勤める。

将来を見据えた暮らしの選択

夫 結婚後の暮らしや将来の子育てについて考える中で、妻の地元である四国中央市を生活の拠点にしようと提案しました。私にとっては初めて暮らす土地でしたが、二人のこれからをどう築くかを考えたとき、ここで生活を始めることに迷いはありませんでした。

妻 中学生から福岡で暮らしていたため、地元で再び生活するのは久しぶりでした。実際に戻ると、まちを歩く人の数や時間の流れにも落ち着きを感じます。市外で過ごした時間が長かったからこそ、以前とは違う目でまちを見るようにもなりました。これからの暮らしを考えるうえでも、穏やかに生活できる環境だと感じています。身近に自然を感じられることも、地元で暮らして改めて気付いたことの一つです。

暮らす中で変わるまちの見え方

夫 移り住んだ当初は、地名や聞き慣れない方言に戸惑うこともありました。一方で、知らない土地だからこそ、通り沿いの店や街並みには自然と目が向きます。今は自転車で通勤しながら周囲を見るうちに、店を目印にすれば場所が分かるようになり、自分なりにまちを把握できるようになってきました。

妻 今では夫のほうが私より道を知っていると思います。地元で暮らしてきた私が知らない店を夫が教えてくれることもあり、同じまちでも見えているものが違うのだと感じました。二人ともお酒が好きで、夜に食事へ出掛けることも、今の暮らしの楽しみの一つです。

このまちで重ねる二人の暮らし

夫 妻と同じく、私も幼い頃から柔道を続けてきました。四国中央市でも、柔道が人と知り合うきっかけになり、練習に足を運ぶ中でつながりができました。食事に誘ってもらうなど、妻や職場とは別の付き合いも生まれています。そうした人間関係がこのまちでできたことを、心強く感じています。また、人の優しさや温かさを感じる場面も数多くあります。

妻 夫がこのまちで自分なりの付き合いを持つようになり、私自身も、四国中央市を地元というだけでなく、二人で暮らしていく場所として見るようになりました。

夫 これからも機会があれば、さまざまな場に参加しながら、人とのつながりを少しずつ増やしていきたいです。

「ここで暮らし続ける」を支える
4つの取り組み

本市では、移住してきた方が安心して暮らし続けられるよう、さまざまな取り組みを進めています。
次のページでは、その暮らしを支える4つの取り組みを紹介します。

NEXT


幼い頃から続けてきた柔道は、今も二人の暮らしを支える


四国中央市で重ねる日常も、二人にとって大切な時間

01 つながる



移住者ランチ交流会

初開催

転勤やUIJターンしてきた方、もともと住んでいる方も、このまちでの暮らしのこと、仕事のこと、何でも気軽に話せる交流の場が始まります。

12/6（日）11:00〜13:00
金生公民館 和室

¥0 FREE　申込不要

※昼食は各自でご用意ください。同日開催の不動産フェアでは、キッチンカーなどが並ぶマルシェも開催します

詳しくはこちら◀

同日開催

四国中央市の魅力を再発見・再発掘！

不動産フェア



12/6（日）10:00〜16:00
金生公民館

地域の魅力を体感できるワークショップやグルメが大集結！親子で楽しみながら「住まい」や「地域の未来」について考えませんか。

- 不動産無料相談、実家リスク診断
  不動産終活おみくじガチャが回せます
- 親子参加クイズ大会
  ① 10:30〜　② 13:00〜
- 書道パフォーマンス大筆体験
- 表札づくり体験
- マルシェ

クイズ大会で豪華景品が当たる!?

問い合わせ先
四国中央宅建協会 24-2235

詳しくはこちら◀

02 支える



若者への家賃補助

県外から本市に移住した若者世帯に対し、住宅の賃借に掛かる費用の一部を補助します。

補助額 最大12万円
（月額最大1万円）

対象者 次の全てに該当する方
- 令和7年中に本市に転入した
- 転入時点で18歳以上39歳以下
- 転入の直前まで愛媛県外に3年以上住んでいた
- 申請日時点で1年以上本市に住んでおり、今後も居住する予定がある
- 進学や転勤などによる転入でない

※その他の条件はホームページで確認してください

申請期間
11/2（月）〜令和9年1/15（金）

詳しくはこちら▼

新しい一歩をこのまちで。
若者の暮らしを応援します。

03 住まう



空き家バンク

市内の空き家の情報を集め、移住・定住を希望する方に紹介する制度です。空き家を新しい暮らしの場としてつなげてみませんか。



あなたの空き家が、
誰かの「このまちで暮らしたい」
を支えるかもしれません。

04 働く



あったかしこちゅ〜事業

若者のUIJターンを促進し、地域人材を確保するため、賛同企業に協力していただきながら、さまざまな事業を実施しています。

これまで実施した主な事業
- 紙のまち魅力体験バスツアー
- 若者暮らし動画の発信
- 若手社会人異業種合同研修会

本事業にご賛同いただける企業を募集しています！
登録は無料です。

「あったかしこちゅ〜事業」と「空き家バンク」について、詳しくはポータルサイトをご確認ください▼

四国まんなか生活
四国中央市魅力発信 移住定住ポータルサイト
四国中央市の魅力や移住・定住に関する情報を発信中！

詳しくはこちら▼

問い合わせ先 四国はひとつ課 0896-28-6168